Creative Enzymes®

ネイティブ豚カルボキシペプチダーゼB

Cat. No. NATE-0152

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カルボキシペプチダーゼB（またはペプチジル-L-リジン（-L-アルギニン）ヒドロラーゼ）は、ポリペプチドのC末端位置から基本アミノ酸であるリジン、アルギニン、オルニチンの加水分解を触媒します。これは34 kDaの単一ポリペプチドであることが示されています。トリプシンは、天然酵素を活性酵素であるカルボキシペプチダーゼB IIにin vitroで□換することができます。最適pHは9.0であることがわかっています。この酵素は、C末端の基本アミノ酸を連続的に切断することによる配列解析に使用される場合があります。また、急性膵炎の診断のための血清マーカーとしても使用できます。
用途	カルボキシペプチダーゼBは、飼育下および野生のホッキョクグマで使用するための非侵襲的妊娠アッセイを開発する研究に使用されました。カルボキシペプチダーゼBは、急性膵炎の新しい潜在的バイオマーカーを特定した研究にも使用されました。Creative Enzymesの酵素は、カルボキシペプチダーゼB活性を小型化されたハイスループットスクリーニング形式で測定するための均一時間分解蛍光（HTRF）アッセイを開発するために使用されました。また、ヒトプラスミノーゲンがビフィズス菌に結合する際のC末端リジン（s）の影響を評価するために使用されました。C末端リジン特異的エンドペプチダーゼであるカルボキシペプチダーゼBによる治療の効果は、フローサイトメトリー分析を使用して測定されます。
別名	カルボキシペプチダーゼB; プロタミナーゼ; CPB1; 膵臓カルボキシペプチダーゼB; 組織カルボキシペプチダーゼB; ペプチジル-L-リジン [L-アルギニン]ヒドロラーゼ; EC 3.4.17.2; 9025-24-5

製品情報

種	豚の
由来	豚膵臓
形態	凍結乾燥粉末。HEPESバッファー塩と炭水化物を含む
EC番号	EC 3.4.17.2
CAS登□番号	9025-24-5
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 7.65の条件下で1.0μモルのヒッピュリル-L-アルギニンを1分あたり加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C